エコアクション21

環境経営レポート

活動期間

2019年4月1日～2020年3月31日

～ 目 次 ～

1.環境方針

2.事業概要

3.環境目標と実績

4.環境活動計画

1）環境活動計画

2）環境活動計画の取組結果とその評価･次年度取組内容

5.環境法規制等の遵守状況

6.代表者による全体評価と見直しの結果

®環境省
エコアクション21
認証番号0004350

2020年７月　6日作成
2020年８月28日改訂

株式会社大畑設備

1.環境方針

株式会社 大畑設備　は、給排水,衛生,冷暖房,水道,消防設備工事業並びに建築・土木工事業の事業活動を行う中、環境問題を最重要課題として捉え、事業活動を通じて環境マネジメントに取組む中で以下の行動指針を定め、環境経営を積極的に進めることをここに宣言いたします。

行 動 指 針

1. 電気・ガス・燃料などのエネルギー削減に努めることによりCO_2を削減します。
2. 産業廃棄物の排出量の削減に努めると共に、分別を積極的に行い再資源化を推進します。
3. 水の使用量の節約に努めます。
4. 環境関連法規則及び、当社が同意するその他の各種協定等を遵守します。
5. 製品・サービスの質の向上に努めます。
6. エコアクション21のガイドラインに基づき、環境経営を行うことを全従業員に周知徹底し、実施作業を環境活動レポートにまとめ社内外に公表します。

制定日　2008年12月15日
改定日　2019年 9月 2日

株式会社 大畑設備

代表取締役 大畑 哲也

2.事業概要

1） 事業所名及び代表者名

株式会社 大 畑 設 備
代表取締役 大 畑 哲 也

2） 所在地

〒734-0003
広島県広島市南区宇品東七丁目10番22号
TEL 082-250-4363
FAX 082-250-4364

3） 環境管理責任者名及び連絡先

責任者： 取締役 大 畑 洋 子
連絡先： TEL 082-250-4363
FAX 082-250-4364
E-mail info@ohhata.co.jp

4） 設立年月日及び資本金

設立年月日：平成3年9月2日 （ 1991年 ）
資本金 ：10,000,000円

5） 事業内容

管工事業
〔 給排水･衛生･冷暖房設備の設計施工 水道施設工事の施工
消防設備工事業 土木工事業 〕
建築工事業
［ 建築工事一式・内装工事 ］

建設業許可 広島県知事（般-28）第26626号

6） 事業の規模

活動規模	単位	第27期 (2017.4～2018.3)	第28期 (2018.4～2019.3)	第29期 (2019.4～2020.3)
売上高	千円	342,182	280,876	277,537
従業員	人	13	13	13
床面積	㎡	529.31	529.31	529.31
元請工事施工	件	2	7	4
下請工事施工	件	23	18	22

＊施工件数は請負金額100万円以上とする
＊弊社年度 4月1日～翌年3月31日

7） 対象範囲（認証・登録範囲）

全組織・全活動（事業活動及び製品ｻｰﾋﾞｽ）･全従業員を対象範囲とし全社的に取り組んでいます。

本社： 株式会社 大 畑 設 備
広島市南区宇品東七丁目10番22号
管工事業・建築工事業

レポート対象期間： 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日
レポート発行日 ： 2020年7月6日

8） 技術者

〈施工管理〉

一級管工事施工管理技士	5名
二級管工事施工管理技士	5名
給水装置工事主任技術者	5名
下水道排水設備工事責任技術者	5名
一級建築施工管理技士	1名
二級建築施工管理技士	1名
二級土木施工管理技士	1名
消防設備士甲種一類	2名
消防設備士甲種二類	1名

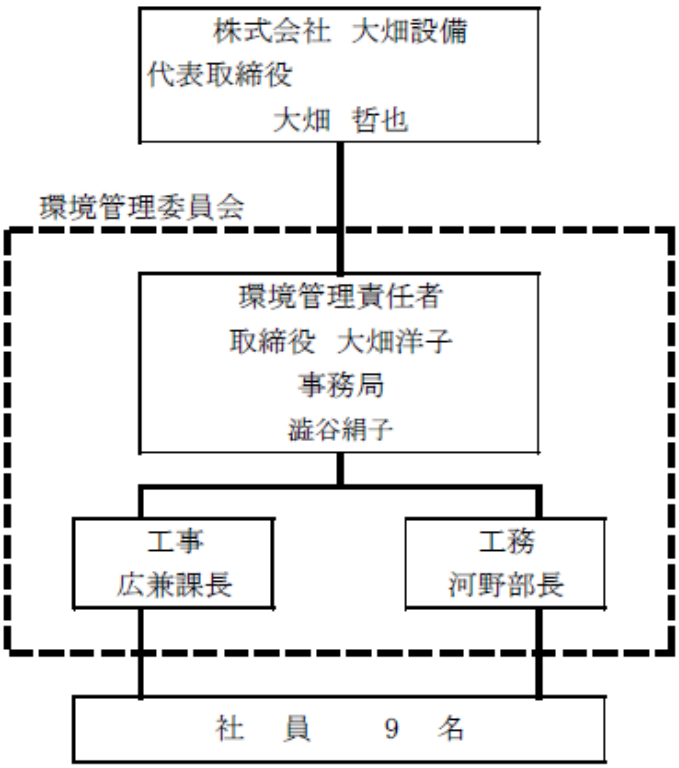
〈設 計〉

二級建築士	1名

〈技 能 士〉

一級配管技能士	5名
二級配管技能士	2名
登録配管基幹技能士	3名

9） 環境活動組織図



担 当	役割・責任・権限
社 長	・環境方針を策定する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・EA21の実行に対する資源を用意する。 ・全体的な活動を評価及び見直しを実施し、必要な指示を行う。 ・外部対応の中身について検討、決定を行う。
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、維持する。 ・環境活動の運営状況を社長に報告する。 ・環境活動レポート作成、取りまとめを行う。 ・外部対応の窓口、回答を行う。
環境管理委員会メンバー	・原則隔月1回委員会を開催(実施状況の確認と必要な対策、措置を行う）する。 ・見直しの為に必要なデーターを収集し集計を行う。 ・各部署の環境活動の具体的な取組内容を実践し、推進する。 ・各部署の環境活動、教育を推進する。
社 員	・会社の方針、目標、計画に従って実行する。

3.環境目標と実績

これまで取組んできた活動の目標と実績　及び　第30期以降の目標

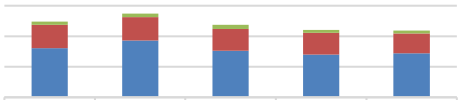
項　目		（基準値） 第22期 (2012.9～2013.8)	（目　標） （実　績） 第27期 （2017.4～2018.3）	第28期 （2018.4～2019.3）	第29期 （2019.4～2020.3）	第29期　評価 （○×）	（目標） 第30期以降
電気	二酸化炭素排出量 （kg-CO2）	16,602	基準年維持 16,602 14,117	基準年維持 16,602 14,295	係数変更 15,439 12,963	○	15,439
	使用量 （kWh）	22,805	基準年維持 22,805 19,392	基準年維持 22,805 19,636	基準年維持 22,805 19,148	○	22,805
車両の燃料 （ガソリン ・軽油）	二酸化炭素排出量 （kg-CO2）	59,050	基準年維持 59,050 30,594	基準年維持 59,050 27,922	基準年維持 59,050 28,914	○	59,050
	使用量 （ℓ）	24,805	基準年維持 24,805 13,134	基準年維持 24,805 12,024	基準年維持 24,805 12,444	○	24,805
【現場】 車両の燃料 （ガソリン ・軽油）	二酸化炭素排出量 （kg-CO2）	47,259	基準年維持 47,259 19,231	基準年維持 47,259 17,507	△13% 41,116 20,479	○	41,116
	使用量 （ℓ）	19,727	基準年維持 19,727 8,239	基準年維持 19,727 7,538	△13% 17,135 8,807	○	17,135
産業廃棄物	排出量 （t）	第23期(2013.9～2014.8) 62.38	△18% 51.01 2.13	△18% 51.01 13.59	△18% 51.01 11.15	○	51.01

項　目		（基準値） 第22期 (2012.9～2013.8)	（目　標） （実　績） 28期 （2018.4～2019.3）	29期 （2019.4～2020.3）	（目標） 第29期　評価 （○×）	第30期 （2020.4～2021.3）	第31期 （2021.4～2022.3）
グリーン 購入品	元請工事の受注促進 （官庁工事の入札参加拡大し落札件数促進他）	11件	11件 7件	11件 4件	×	11件	11件
	設備一括工事の受注促進 （ゼネコン、エンドユーザーからの受注促進）	8件 （6345万円）	15000万円 （10件） 11852万円 （15件）	15000万円 （10件） 14772万円 （14件）	△	15000万円 （10件）	15000万円 （10件）
	事務所備品・消耗品のエコ商品購入促進	59%	70% 70%	70% 62%	△	70%	70%
製品 サービス の向上	工事完成後のクレーム処理に掛るＣＯ2の削減 （燃料削減）	0件	0件 0件	0件 0件	○	0件	0件

※2010年12月～2011年11月まで3Fに別事務所開設（電気・ガス使用量合同）現在、弊社が使用。
※自動車燃料は、事業所・建設現場の使用量である。
※一般ゴミ排出量と水使用量は第18期～第20期まで取り組んだ結果、使用量も安定しており管理数値も小さく、運動も周知されてきたため
　21期からは目標・数値管理は取り止めた。
※建設現場での電力使用量は、元請業者の無償支給で各下請業の共同使用のため、データ収集不可能。
※産業廃棄物排出量は下請工事の場合は共同処分になるため、加工場・元請工事の際に処理した排出量とする。
※化学物質（ＰＲＴＲ制度対象物質）は使用していません。
※元請工事の受注促進が、グリーン購入の推進に係る理由は、元請工事または一括工事でないとグリーン購入の自社裁量が不可能。
　並びに、業務発展に対する貢献活動の為。

3.環境目標と実績

CO2総排出量（kg-CO2）

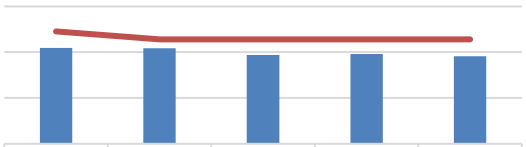


	25期	26期	27期	28期	29期
ガス	2,089	2,307	2,680	1,944	1,938
電気	15,262	15,188	14,117	14,295	12,963
自動車燃料	32,278	37,318	30,594	27,922	28,914

自動車燃料 電気 ガス

25期～28期 購入電力のCO2排出係数は平成22年度 実排出係数（中国電力㈱） 0.728（kg-CO2/kWh）を使用
29期 購入電力のCO2排出係数は平成29年度 調整後排出係数（中国電力㈱） 0.677（kg-CO2/kWh）を使用

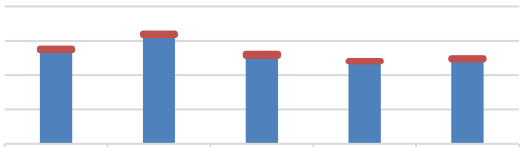
電気使用量（kWh）



	25期	26期	27期	28期	29期
使用量	20,964	20,863	19,392	19,636	19,148
目標	24,549	22,805	22,805	22,805	22,805

使用量 目標

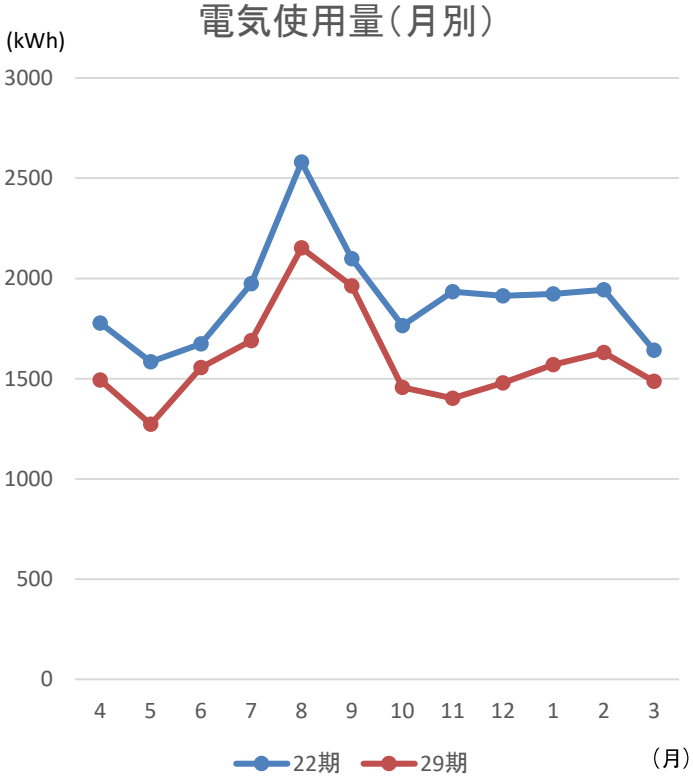
自動車燃料使用量（ℓ）



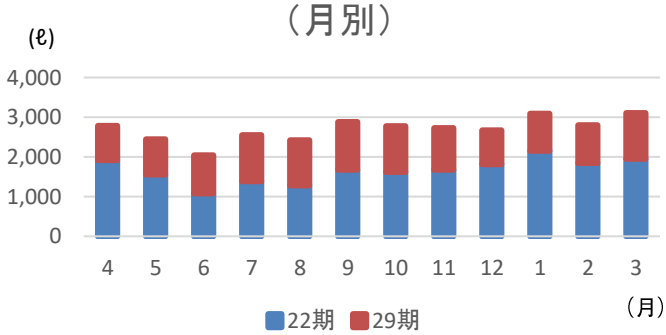
	25期	26期	27期	28期	29期
軽油	232	223	339	18	148
ガソリン	13,641	15,823	12,795	12,006	12,296

ガソリン 軽油

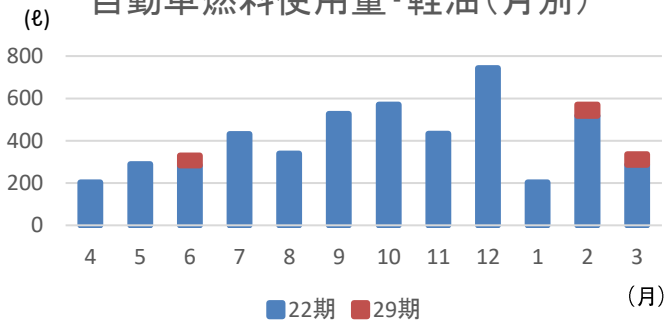
電気使用量（月別）



自動車燃料使用量・ガソリン（月別）



自動車燃料使用量・軽油（月別）



4.環境活動計画

1）環境活動計画

電気使用量の削減

- 不要時は照明を消灯する。（昼休み等）
- クールビズ・ウォームビズ運動を実施する。（冷房25℃，暖房20℃）
- OA機器は省エネモード、電源OFF等の設定で節電する。

自動車燃料の削減

- エコドライブ運転を実施する。
  （アイドリングストップ，冷暖房の控えめ，急加速・急ブレーキの抑制）

廃棄物の管理

- 廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに適正な処理を管理する。
- 使用済み封筒・用紙（コピー用紙・図面等）を再利用する。
- 電子媒体を活用し、紙の使用を最小限にする。
- プリンターのトナーカートリッジは回収してもらう。
- 事業ごみ（一般廃棄物）は分別に従って排出し、市が許可した運搬業者へ委託する。
- 現場資材の有効利用・分別に取組む。

水使用量の削減

- 節水運動を実施する。（こまめに蛇口開閉、漏水点検）

環境への配慮

- 整理整頓を心がけ、清掃活動に積極的に取組む。
- 環境によい商品・ｸﾞﾘｰﾝ購入法商品を使用するよう心がける。

グリーン購入

- エンドユーザーへの営業展開を強化する。
- 公共工事へ積極的に入札参加する。
- 事務所備品・消耗品のグリーン購入を促進する。
- グリーン資材の導入の実績報告（グリーン購入実績報告書）等を行っている。

製品･ｻｰﾋﾞｽの質の向上

- 毎月、安全･品質パトロールを各現場で行い、施工状況を確認する。
- クレーム事例を検証し再発防止策の教育を実行する。

2）環境活動計画の取組結果とその評価,次年度取組内容

電気使用量の削減

- 不要時は照明を消灯する。（昼休み等）
- クールビズ・ウォームビズ運動を実施する。
  （冷房25℃，暖房20℃）
- OA機器は省エネモード、電源OFF等の設定で節電する。

ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ/消灯の励行シール

ＬＥＤ蛍光灯

評価（実施状況・次年度取組内容）

【○】目標達成　【△】まずまず　【×】目標未達成

22期 実績 (13.9～14.8)	目　標	29期 実績 (19.4～20.3)	達成状況	30期 目標 (20.4～21.3)	目標達成
22,805 kWh	22,805 kWh	▲16% 19,148 kWh	目標値より 3,657kWh減少	22,805 kWh	○

【○】… 目標値より 、
電気使用量　3,657kWh 減少
ＣＯ2排出量　2,476kg-CO2 減少

CO2排出量

22期 実績 (13.9～14.8)	目　標	29期 実績 (19.4～20.3)	達成状況	30期 目標 (20.4～21.3)	目標達成
16,602 kg-CO2	15,439 kg-CO2	▲16% 12,963 kg-CO2	目標値より 2,476kg-CO2減少	15,439 kg-CO2	○

8月にCO2排出係数を改定し、
目標CO2排出総量が今までより減ったが
前期同様、社員全員で節電に取組み大幅な
削減結果になった。
来期も引き続き節電に取組む。

自動車燃料の削減

- エコドライブ運転を実施する。
  （アイドリングストップ，冷暖房の控えめ，
  急加速・急ブレーキの抑制）

エコ仕様トラック

評価（実施状況・次年度取組内容）

【○】目標達成　【△】まずまず　【×】目標未達成

22期 実績 (13.9～14.8)	目　標	29期 実績 (19.4～20.3)	達成状況	30期 目標 (20.4～21.3)
（事務所） 24,805 ℓ	24,805 ℓ	▲49.8% 12,444 ℓ	目標値より 12,361 ℓ 減少	24,805 ℓ
（現場） 19,727 ℓ	17,135 ℓ	▲48.6% 8,807 ℓ	目標値より 8,328 ℓ 減少	17,135 ℓ

【○】… 目標値より 、
（事務所）12,361 ℓ/30,136kg-CO2 減少
（現場）8,328 ℓ/20,637kg-CO2 減少

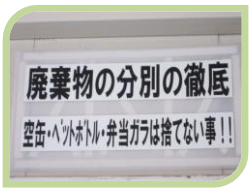
社員全員の協力のもと、順調に目標値を下回った。
引き続き、エコドライブに努める。

ＣＯ2排出量

22期 実績 (13.9～14.8)	目　標	29期 実績 (19.4～20.3)	達成状況	30期 目標 (20.4～21.3)
（事務所） 59,050 kg-CO2	59,050 kg-CO2	▲51% 28,914 kg-CO2	目標値より 30,136kg-CO2減少	59,050 kg-CO2
（現場） 47,259 kg-CO2	41,116 kg-CO2	▲50.2% 20,479 kg-CO2	目標値より 20,637kg-CO2減少	41,116 kg-CO2

廃棄物の管理

- 廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに適正な処理を管理する。
- 使用済み封筒・用紙（コピー用紙・図面等）を再利用する。
- 電子媒体を活用し、紙の使用を最小限にする。
- プリンターのトナーカートリッジは回収してもらう。
- 事業ごみ（一般廃棄物）は分別に従って排出し、市が許可した運搬業者へ委託する。
- 現場資材の有効利用・分別に取組む。



分別の励行シール

評価（実施状況・次年度取組内容）

【○】目標達成　【△】まずまず　【×】目標未達成

23期 実績 (13.4～14.3)	目　標	29期 実績 (19.4～20.3)	達成状況	30期 目標 (20.4～21.3)
62.38 t	51.01 t	11.15 t	目標値より 39.86 t 減少	51.01 t

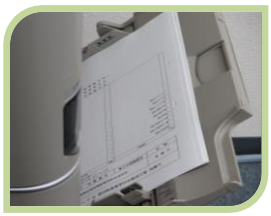
【○】…目標値より 39.86 t 減少

落札した公共工事の現場や１階の加工場での作業にて
廃棄物が出たが、引き続きマニフェストの適正な管理・現
場資材の有効利用・分別といったことを徹底して管理して
いく。

ｸﾞﾘｰﾝ購入の促進

- ｴﾝﾄﾞﾕｰｻﾞｰへの営業展開を強化する。
- 公共工事へ入札参加する。
- 事務所備品・消耗品のｸﾞﾘｰﾝ購入を促進する。

エコ商品の購入（一部）



コピー用紙裏紙

評価（実施状況・次年度取組内容）

【○】目標達成　【△】まずまず　【×】目標未達成

項目	22期 実績（13.9～14.8）	目　標	29期 実績（19.4～20.3）	達成状況	30期 目標（20.4～21.3）
元請工事の受注促進	11　件	11　件	4　件	目標より 7件 減少	元請工事 11件，設備一括工事 10件（15,000万円）
設備一括工事の受注促進	6,345 万円（8件）	15,000 万円（10件）	14,772 万円（14件）	目標より 228万円減少	
事務所の備品･消耗品のエコ商品購入促進	59%	70%	62%	目標より 8%減少	

元請工事【×】設備一括工事【△】
事務所備品【△】…
今期は目標達成に至らなかったが、引き続きの従来得意先フォロー、新規得意先の開拓、営業努力を行っていく。
事務所の備品･消耗品については、現場指定のマジック等、一部ｴｺ商品ではなかったが、来期も引き続きｴｺ商品を購入する様努力していく。

製品・ｻｰﾋﾞｽの質の向上

- 安全･品質パトロールを強化し、施工状況を確認する。
- クレーム事例を検証し再発防止策の教育と実行をする。

EA21教育訓練実施の様子（年２回）※今年は新型ウイルスの影響で年１回開催

評価（実施状況・次年度取組内容）

【○】目標達成　【△】まずまず　【×】目標未達成

22期 実績（13.9～14.8）	目　標	29期 実績（19.4～20.3）	達成状況	30期 目標（20.4～21.3）
0 件	0 件	0 件	目標達成	0件

【○】…目標達成
今期もクレーム0を継続出来たので、引き続き品質管理にしっかりと対応する。
安全衛生協議会(協力業者参加)で各事業主に対して、クレーム0の徹底を計ったり、新規着工現場に於いて徹底教育を行う。

※　水使用量の削減状況：29期実績（19.4～20.3）　100m3　（22期実績（13.9～14.8）　107m3）

5.環境法規制等の遵守状況

主な環境関連法などおよび順守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	順守する事項	順守評価
廃棄物処理法	保管基準の順守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出、自社による運搬時の表示、書類携行	順 守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出、特定建設資材廃棄物の再資源化義務	順 守
騒音・振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の順守	順 守
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の順守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	順 守
労働安全衛生法	事業者、労働者の責務の順守、作業環境の保全、有資格者以外の就業制限作業の禁止	順 守
改正フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	順 守
高圧ガス保安法	高圧ガス運転車両の移動基準の順守	順 守

遵守状況を確認した結果、法違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟はこの３年間はありませんでした。

6.代表者による全体評価と見直しの結果

「環境方針」

サービスの質の向上（漏水事故0件）については、これからも変わらず品質管理を徹底し、引き続き教育に取組む。

「目標・環境活動計画」

今期も、社員全員の努力でエネルギー削減の目標値を下回る事が出来た。
産廃についても、マニフェストの管理・現場資材の有効利用・廃棄物の分別等が適正に行われた。
引き続きの努力と、エコ商品の購入といったことの徹底管理を継続していく。
また、我社が主眼を置く 製品・サービスの質の向上（漏水事故0件）については、これからも
引き続き毎月各現場ごとに、安全品質パトロールを行い、施工状況を確認する。

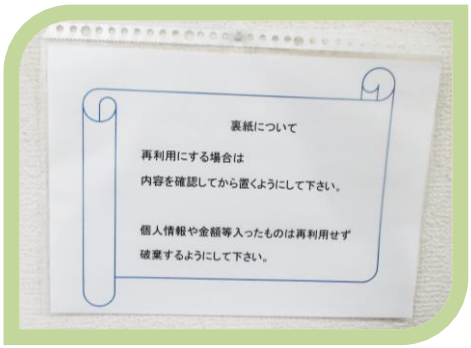
「その他の環境経営システム」

今後も同様に、各協力業者に環境活動への取組みを周知徹底していく。
その為に今まではこの環境活動を現場での周知と併せて、年２回開催の安全衛生協議会（各協力業者の代表者出席）において周知の徹底をはかってきたが、新型ウイルスの影響で今年は６月開催を見合わせる事となった。
今後は新しい生活様式にならい、集まりは開催せずとも各協力業者へ資料を配布し、周知活動を努めていけるよう努力する。

2020年7月6日
株式会社　大 畑 設 備
代表取締役　大 畑 哲 也

分別の徹底

節電の呼びかけ



裏紙使用の呼びかけ